

発注企業動向調査結果

-2020.7-

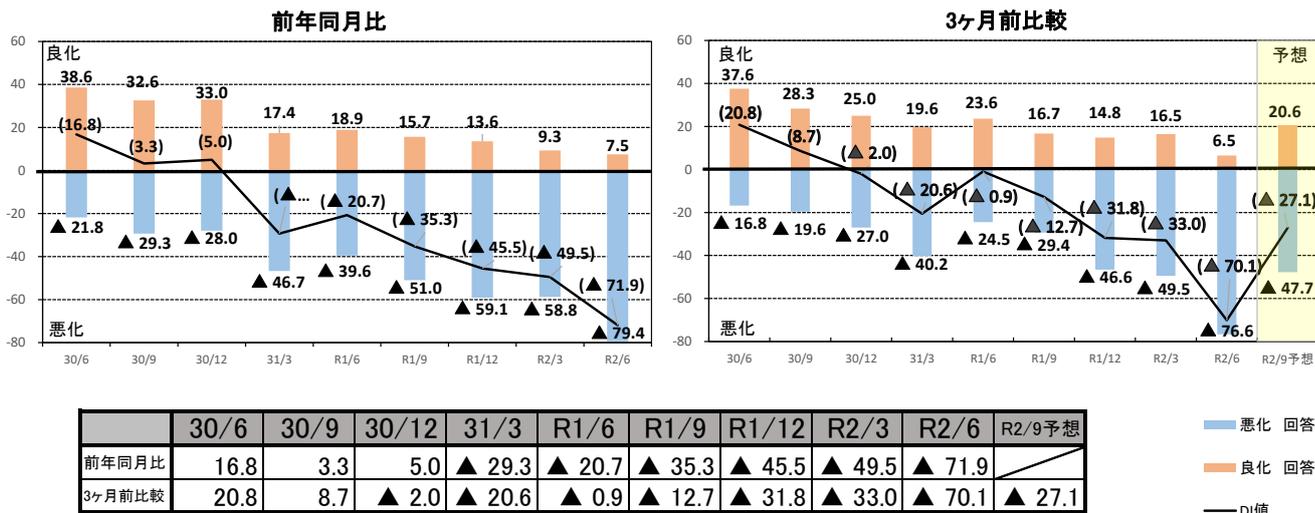
- 調査時点 令和2年6月調査(令和2年6月末時点)
- 対象企業 150社
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)
- 回答企業107社(回答率:71.33%)

<業種内訳>

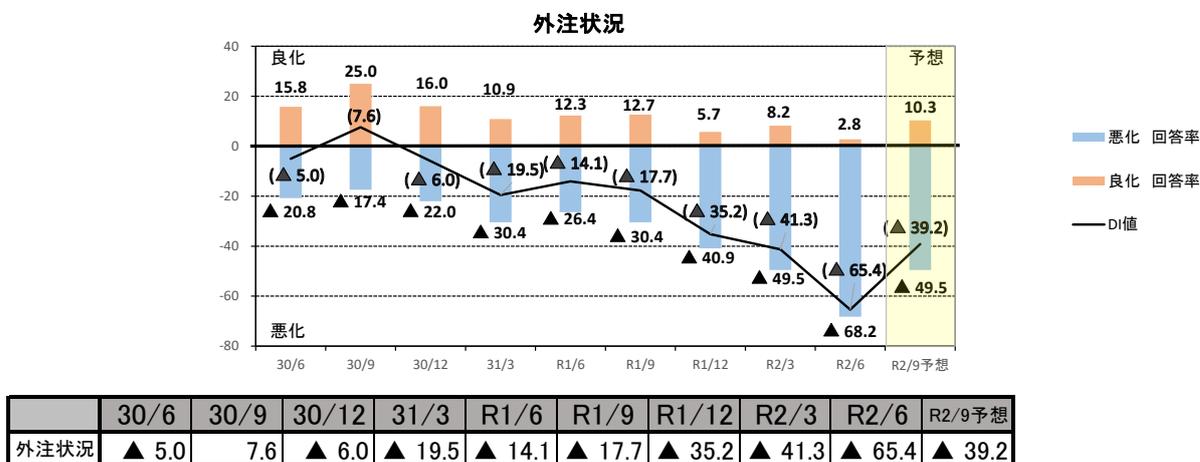
プラスチック	11社
鉄鋼・非鉄	12社
金属製品	9社
一般機械器具	20社
電気機器	22社
輸送用機器	23社
精密機器	4社
縫製	6社
計	107社

DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。

●生産高



●外注状況



●概要(総合)

- ・生産高(前年同月比)のDIは▲71.9で前回の▲49.5から22.4ポイント減で悪化となった。
- ・生産高(3ヶ月前比較)のDIは▲70.1で前回の▲33.0から37.1ポイント減で悪化となった。
- ・外注状況(3ヶ月前比較)は▲65.4で前回の▲41.3から24.1ポイント減で悪化となった。
- ・3ヶ月後の予想DIは生産高が▲27.1で43ポイント増の改善、外注状況が▲39.2で26.2ポイント増の改善という予想になった。
- ・その他自由意見として、新型コロナウイルス感染症の影響で受注・売上が減少している。部品の入手が困難となったものがあり、それらは納期の長期化や失注となってしまっている。先行きが見通せず、帰休等を実施しながら市場の回復を待っている状況であるという意見が寄せられた。